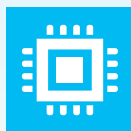




株式会社UKCホールディングス 株主様へのご案内



2017年度第2四半期(第9期)
2017年4月1日～2017年9月30日

証券コード：3156

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会：毎年3月31日
剰余金の配当の 基準日	期末配当：毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.ukcgroup.com/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ	http://www.ukcgroup.com/
証券コード	3156
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

【お知らせ】

- 住所変更・単元未満株式の買取等のお問い合わせ先について
お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に係る各種手続きについて
上記の特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。
- 未払配当金のお支払いについて
支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。ご郵送の場合は上記郵便物送付先までご送付ください。

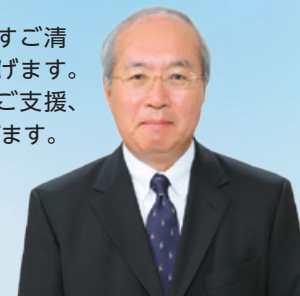
株式会社UKCホールディングス
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎イーストタワー15階
TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
<http://www.ukcgroup.com/>



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素からの皆様のご支援、ご高配に厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長
栗田 伸樹



当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～9月30日）の当社グループにおきましては、海外のスマートフォン向け半導体の販売が好調に推移したことに加えて、香港における貸倒引当金の影響が剥離したことにより、増収増益となりました。

下半期につきましては、急速な為替変動や円高、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感も徐々に和らぎ、景気は緩やかな回復傾向にあります。当社グループとしましては、いまいちど足元を固め、経営基盤の強化に努めてまいります。

さて、私は9月15日の株主総会後に開催された取締役会において当社社長を拝命いたしました。私たちが所属しておりますエレクトロニクス業界は、絶え間ない技術革新とそれに伴う競争や事業再編によって、目覚ましい発展と変貌を続けています。このような変動の激しい業界においてエレクトロニクス商社が成長していくためには、商社機能にプラスαの付加価値が不可欠です。私は前職のメーカーで、部品調達のみならず商品企画に不可欠な新規機能を持つ部品の提案など商社の役割や存在意義を学びました。この経験を活かし、これから当社を「モノを仕入れて売る商社」から、「開発からサポートまでトータルソリューションで寄り添う“技術商社”」に発展させ、勝ち残りを図る所存です。UKCグループのさらなる成長に向け、新しい体制を構築し、高付加価値が期待できる事業の強化を図ってまいります。

また、当社は今年、連結子会社における不適切な会計処理の問題により、株主の皆様にご迷惑をおかけしました。このようなことが二度と起こらないよう再発防止策を立案し、具体的な取り組みを始めております。皆様からの信頼回復に向け、より一層ガバナンス・コンプライアンスの強化を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績サマリー

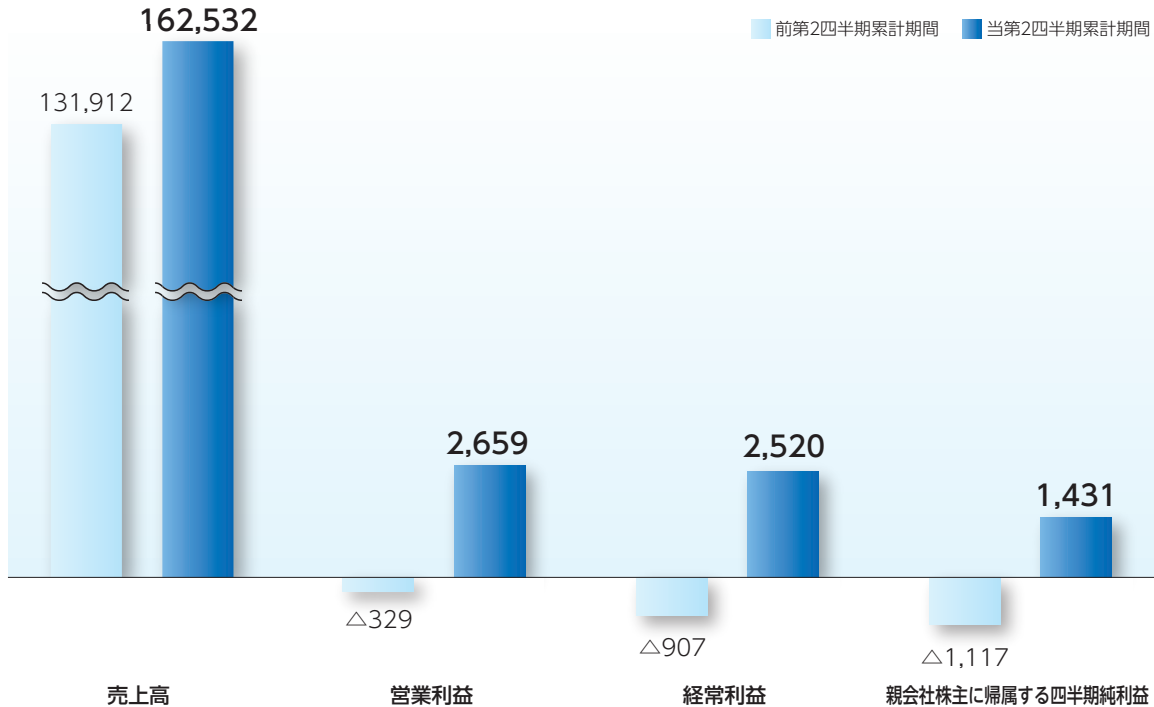
当社連結子会社であるUKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD.における不適切な会計処理等に関連して、2017年7月31日に過年度の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正、並びに過年度の決算短信を訂正いたしました。これに伴い本誌におきましても、前第2四半期累計期間の数値を修正しております。

より詳細な情報は
当社ホームページへ

UKC 決算短信

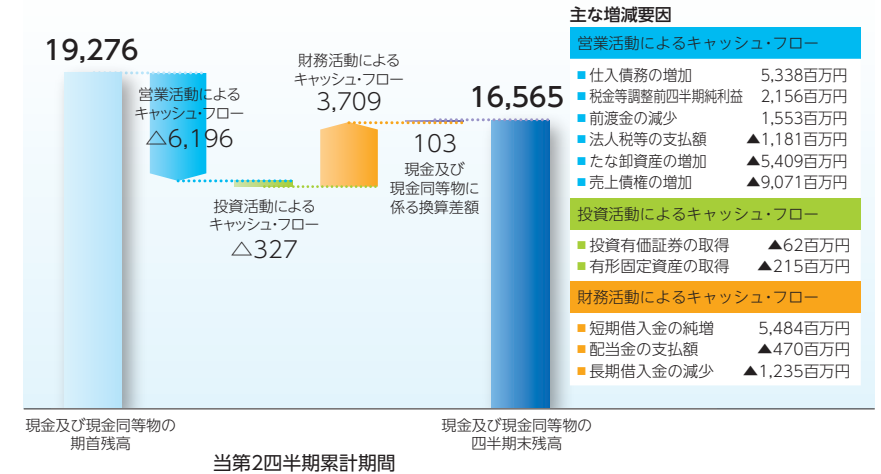
検索

四半期連結損益計算書 (単位: 百万円)

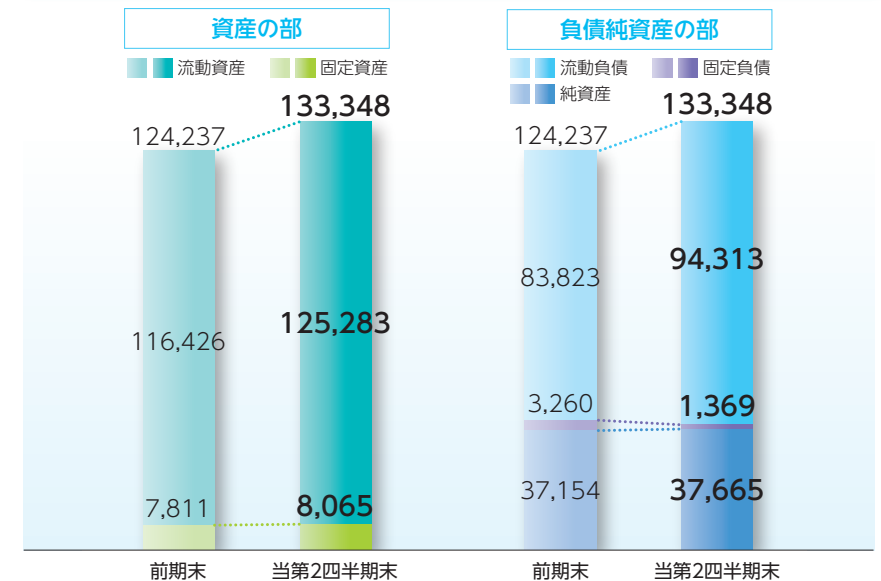


売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
<p>Point</p> <p>前年同期比</p> <p>+306億円 (+23.2%)</p> <p>ポイント</p> <p>海外スマートフォン向け半導体売上が好調、国内向けは熊本地震の影響が剥離</p>	<p>Point</p> <p>前年同期比</p> <p>+29億89百万円</p> <p>ポイント</p> <p>香港の貸倒引当金繰入損が剥離したこと増収効果により、黒字転換</p>	<p>Point</p> <p>前年同期比</p> <p>+34億28百万円</p> <p>ポイント</p> <p>営業利益増に加え、為替差損益の改善(前年同期425百万円差損⇒112百万円差益)が貢献</p>	<p>Point</p> <p>前年同期比</p> <p>+25億48百万円</p> <p>ポイント</p> <p>香港における不適切会計関連費用の一部を過年度決算訂正関連費用として特別損失に計上(約3.6億円)</p>

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

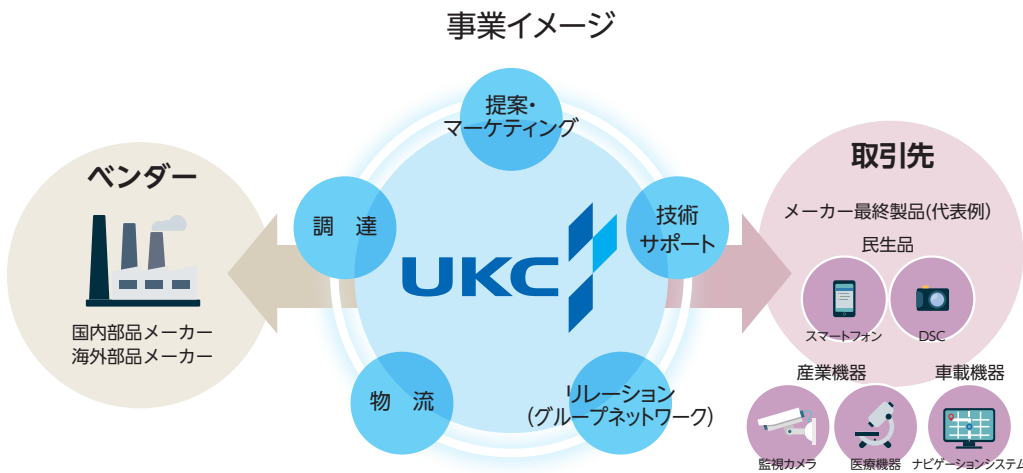


四半期連結貸借対照表 (単位: 百万円)



事業状況について

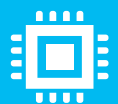
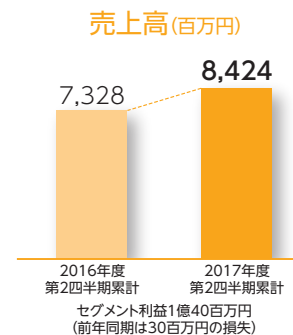
当社グループはエレクトロニクス分野の商社として、部品メーカーと最終製品メーカーとの間を結び適切なソリューションを提供することで、社会や世界の発展に貢献しています。



電子機器事業

売上高構成比
5.2%

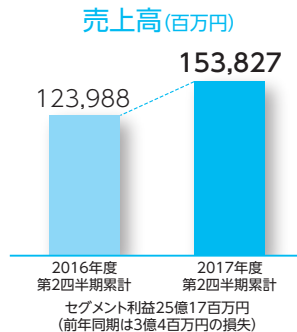
- ▶▶ 4Kや監視カメラ等の需要増
- ▶▶ 増収効果と利益率の向上により、セグメント利益を計上



半導体及び電子部品事業

売上高構成比
94.1%

- ▶▶ 前年同期の熊本地震の影響の剥離や海外のスマートフォン向け売上が好調に推移したことにより増収
- ▶▶ セグメント利益は、増収効果に加え、前年同期の香港における貸倒引当金繰入額が剥離したことにより、黒字に転換し、利益水準は正常化



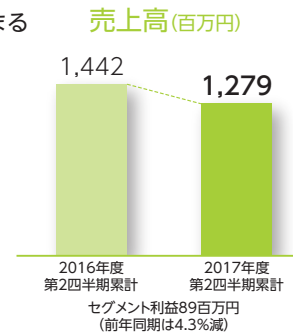
システム機器事業

売上高構成比
0.8%

- ▶▶ 電子マネーの用途の広がりには継続中だが、足元の需要が減速
- ▶▶ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業においては、車載向けの引き合いが増加しているものの、九州における大雨の影響あり
- ▶▶ 利益率が向上したことにより、セグメント利益は微減に留まる



FeliCa・NFC対応
電子マネー決済端末
【UFT-N15xシリーズ】
<OEM提供品>



会社概要 (2017年9月30日現在)

商号	株式会社UKCホールディングス (英文名: UKC Holdings Corporation)
本社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー15階 TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
設立	2009年10月1日
資本金	43億83百万円
事業内容	各種半導体・電子部品、電子機器、システム機器販売事業、半導体等の信頼性試験・環境物質分析サービス及び、EMS事業等を営むこと、並びにこれらの事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること
従業員数	単体264名 連結2,019名

取締役及び監査役	代表取締役社長 栗田 伸樹 取締役 田口 雅章 取締役 矢島 浩 取締役(社外) 島崎 憲明※ 取締役(社外) 岩本 永三郎※ 常勤監査役 森田 清文 監査役(社外) 坂倉 裕司※ 監査役(社外) 戸川 清※ ※東京証券取引所の定める独立役員として届け出ております。
----------	---

株式の状況 (2017年9月30日現在)

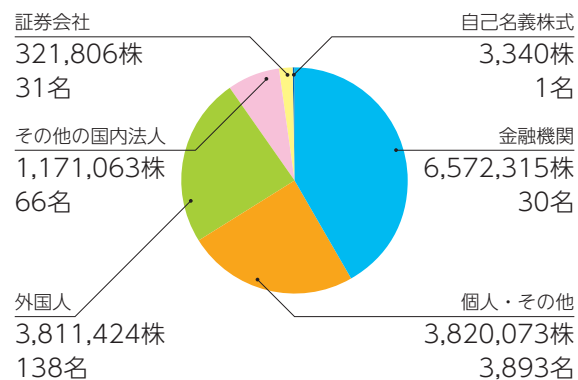
発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式総数	15,700,021株
株主数	4,159名

大株主

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託ソニー株003口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	2,234	14.23
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,364	8.68
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	831	5.29
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託東京都民銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	623	3.97
(株)三菱東京UFJ銀行	496	3.16
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	413	2.63
中山 邦子	374	2.38
(株)みずほ銀行	370	2.35
DFA UNTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	332	2.12
明治安田生命保険(相)	295	1.88

株式分布状況

所有者別株式数分布状況



トピックス

IoT時代のカンブリア爆発

今から5億4,300万年前のカンブリア紀にカンブリア爆発が起きました。これは、地球上で今日見られる生物の「門」が出そろった現象ですが、ある学者は生命体が「眼」を持ったことで捕食・防衛能力が一気に高度化し、さまざまな生物へと進化したと唱えています。

そして今、頭脳(AI)を持った機械やロボットが新たに「眼」を持つことで、その能力が一気に高度化し、さまざまな産業へと進化しています。これはIoT(モノのインターネット化)時代の第二のカンブリア爆発とも言われています。冷蔵庫や自動車、携帯電話が眼を持つことなど想像できたでしょうか?

機械が眼を持つことで計り知れない新たな産業が生まれます(右図)。UKCの強みであるソニー製イメージセンサーこそ、まさに機械の「眼」であり、今後の社会インフラの高度化やIoTの普及にとともに、その用途はますます広がります。

- 介護・医療現場での見守り
- 警備・防犯
- 顔認証、表情の読み取り機能
- 入国管理、輸出入管理
- 防災関連(河川や火山の見張り)
- 農業関連(収穫など)
- 自動操縦関連(ドローンなど)
- 産業用ロボット
- その他

それに加えて、2020年の東京オリンピックをはじめ、キャッシュレス化の進行、4Gから5Gへの商用化なども私たちが発展するための大きなチャンスです。

私たちはさまざまな分野に眼を光らせ、何が起きているかを把握し、それに対して適切な行動を起こすことで新たな産業を生みだし、ビジネスの爆発的拡大へとつなげてまいります。

